

第2回 enjoy80 写真コンテスト

昨年に続き「enjoy80 写真コンテスト」を開催します。

今や人生 100 年時代 80 歳はまだまだ活躍できます。

【もっともっと輝こう！】

をテーマに楽しく前向きに進んでいこうではありませんか。超シニアの存在をアピールしましょう。

テーマは自由です。

◆ 締切り

2025 年 9 月 20 日（土）*当日消印有効

◆ 応募料

応募点数に関わらず

会員 : 2,000 円

一般/Web : 3,000 円

（郵便振込でお願いします）

◆ 応募資格

2025 年 12 月 31 日現在で 80 歳以上の方

◆ 応募内容

A4 サイズの単写真(一人 5 点まで)

応募は本人が撮影したもので、未発表の作品に限ります。

◆ 応募方法

詳細はチラシの裏面もしくは大阪府本部ホームページをご確認ください。

◆ 審査委員長

入江泰吉記念奈良市写真美術館

館長 大西 洋氏

春の撮影会ご報告

4 月 20 日の春の撮影会はあいにくの曇天の中、今回は、モデルさん無しでの天王寺界隈で街ぶら撮影会を行いました。

前日までの雨など天候のせいかな例年より少し集まりが悪かった。

リニューアルオープンしたばかりの大阪市立天王寺美術館前に 102 名の会員及び一般参加者が集まり吉田義隆委員長の挨拶の後、A コースは新世界・通天閣・動物園方面、並びに B コースは茶臼山・四天王寺・夕陽丘方面に分かれての撮影。

インバウンド客で賑わう新世界では、細心の注意を払いながら声をかけてのスナップ撮影などを楽しみました。

また四天王寺・夕陽丘方面は坂道が多く風景とスナップ撮影を楽しみました。

作品審査会は 5 月 26 日に行われ応募者 56 名、応募作品 229 点（単写真 208 点。組写真 21 点）が応募され、そのうち入賞者 13 名が選出されました。

< 審査結果発表 >

【審査委員長総評：今村昭一】

「天王寺界隈」でのフリー撮影会にご参加頂き、ありがとうございました。そして作品をご応募された方々に御礼申し上げます。ご入賞ご入選の皆さま、おめでとうございます。

審査では、天王寺らしさを求めつつもデジヤブ感のある作品より、冷静にしてユニークな作品を優先して選びました。直接的な天王寺イコール四天王寺や通天閣という図式はあまりにも通例にすぎるからです。これを 3 人の審査員が共有しました。

撮影場所が観光地の定番であるだけに、作品づくりには意を用いた様子がうかがえました。それを如実に表したのが組み写真の多さです。全作品のおよそ 1 割を占めました。

今回の上位作品は審査員の意見が交錯し

合意に時間がかかりました。作品から受ける印象と解釈が多様かつ多岐にわたったからです。入賞入選作品はいずれも基準を超え、特異さや斬新さが見受けられました。

一方で、印刷用紙上の色が当初の意図通りに出ていないと推測される作品が散見されます。要因はいくつもあります。色の表現はおもに撮影や印刷の時点で決まります。つまりカメラの設定（仕上がり設定の詳細）やプリンターの設定を自分のイメージに添って適切に行うことです。くわえて編集ソフトを十分に使いこなすことが大切です。

大阪府本部はコンテストに応募された写真、とりわけスナップ写真について、対象の人物やモノはご本人や所有者の了解を得ているとの前提で審査しています。どうぞご理解ください。

質が高く斬新な写真をめざしておられる皆さま方のご努力に敬意を表します。

審査委員 今村昭一（委員長）、難波正次
高橋憲一

○推薦

「昭和の佇まい」堀 廣一(大阪市)

○特選

「工房」和田 修(大阪市)

○準特選

「ギョギョ!!」山城和蔵(大阪市)

「路上の画伯」斉藤 貴(大阪市)

○入選

地道孝洋、木下修二、小篠 勝、玉邑 悟、
本田健二（以上大阪市）、中野弘喜（東大阪市）、
多賀亜紀子(八尾市)、阿茂瀬邦男（堺市）、久井義弘(奈良市)



「ギョギョ!!」山城和蔵

秋の撮影会

枚岡神社秋祭り「秋郷祭」
(近鉄奈良線)

大阪府下最大の秋祭り、大小 23 基の太鼓が
参集

日時：10 月 12 日（日）雨天決行

参加費：無料

*詳細はチラシまたは大阪府本部ホームページをご覧ください

2025 年度大阪府本部 新委員紹介



(開会式の様子)



この度、大阪府本部委員の一員に加えて頂くことになりました森昌恵と申します。

私は、2013 年に全日写連に入会させて頂き、川岸じろう先生・鈴木一彦先生よりご指導いただきながら今日まで

写真を続けられた事が私にとって楽しく良い経験となりましたこと、心より感謝いたします。

また、個人では出来ない府本部での撮影会を企画・開催・運営されている府本部の皆様方に感謝申し上げます。

経験も浅く、府本部の皆様のような実力は持ち合わせておりませんが、会員の皆様方に写真撮影をお楽しみいただけますよう微力ながらお手伝いをさせて頂きたいと思っております。

全日写連大阪府本部 特別企画

山中 健次 写真講習会

「ワンランクアップの作品づくりを目指して」

日 時 : 2025 年 8 月 26 日 (火)
午後 1 時より
会 場 : 朝日新聞大阪本社会議室
講 師 : 山中 健次氏 全日本写真連盟
総本部理事・全日本写真家協会会員
参加費 : 会員 1,000 円
Web 会員・非会員 3,000 円
当日、会場で徴収します
定 員 : 40 名 (先着順)
申込み : メールのみ

nissyaren@osaka.email.ne.jp

件名欄に、「夏、勉強会」と書いて、氏名、住所、携帯電話会員番号をご記入上申込みください。折り返しご連絡します。

・スナップ写真が撮影しにくくなってきた昨今ですが、どの様に対応していけばよいのでしょうか？
・組写真が進化して難しくなってきました、どんな点に気を付けたらよいのでしょうか？
・力のある単写真とは？
・被写体の見つけ方のコツは？
・どんなタイトルが良いのでしょうか？
といった日頃の疑問点の攻略法が、話の中で見つかるかもしれません。

是非、数々のビッグコンテストを勝ち抜いた達人の話を聞いて、今後の撮影に役立ててください。

読者の広場

<第6回いきものフォト展>



【いきものフォト支部 西山志げる
「横取りされた！(ユリカモメ)」】

ユリカモメは、ユーラシア大陸・イギリス・アイスランドなどで繁殖し、冬は南下しヨーロッパ・アフリカ・インド・東南アジアへ渡り、越冬する。

日本では 10 月下旬になると主にカムチャッカ半島から渡って来て、3 月中旬頃北帰を始める。全長は約 40 cm。夏場は頭部が黒褐色になるが、冬場は頭部が白く、赤い嘴と足が目立つ。雑食で魚・甲殻類・昆虫・雑草種子・生ごみも食べる。滞在が長くなるとユリカモメも慣れてきて、えさ欲しさに欄干に並ぶことがあります。野生動物にエサをやるのは、どうかとは思いますが、ついパンの耳などをやってしまいます。この写真は順番待ちをしていたのに、横から取られてしまい、エーッという顔をしているユリカモメの兄ちゃんです。

<第3回フォトくらぶ令和展>



【フォトくらぶ令和 宮本勝彦
「水面を黄昏に染めて」】

淀川の「わんど」は都会に住む我々にとって心が和む場所です。

日没直前、空気が色が変わり釣り人の影が水面を背景に浮かび上がり、シャッターを切りました。

あと数分で消えていく光が、釣り人を待っているような時間でした。

<第3回フォトくらぶ令和展>

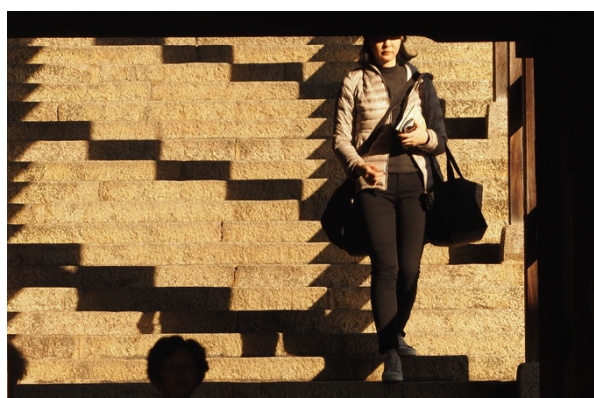


【フォトくらぶ令和 清水圭二
「街道の人気者」】

アマ・ダブラム (6821m) はシェルパ語で「母の首飾り」というそうです。

エベレスト街道の核心部のどこからでもその美しい山容が眺められ、最高の被写体の一つとなっていると共に、高山病と闘うトレッカーを優しく見守り励ましており、あたかも街道の超巨大なお地蔵さんの様な気がしました。

<第3回フォトくらぶ令和展>



【フォトくらぶ令和 嶋村 純一
「夕暮れの古都」】

東大寺2月堂横の階段は3月にはお水取りの松明が駆け上がる。

秋には夕陽が差し込み階段影の幾何学的造形が面白い！

ここに人影を取り込み秋の暮れ行く情景が出せればとチャンスを持った。

古都の奈良にモダンな幾何学模様と洒落た人影、秋の夕暮れが絵になったと思う。

関西本部 100 周年記念トークイベントご報告

今年5月17日、大阪市北区のアサコムホールで関西本部100周年を記念したトークイベントが行われました。動物写真家の第一人者である前川貴行さんと今年84歳になるヒマラヤ写真家の棚谷彰さんを招聘しました。イベントは参加者たちがホールを埋め尽くす中、スクリーンに映し出された映像を本人たちの解説を交えながら観覧。大盛況の中幕を閉じました。また夕方から行われた打ち上げパーティーには日頃お世話になっているメーカーさんや関西本部の事業に関連する多くの方々にご参加をいただきました。

渡辺雅隆会長もイベントやパーティーで話されていたように全日写連は更なる100年を目指し、写真文化に貢献していきたいと思っています。

AI技術や画像処理の飛躍的な進化により、何が事実なのかが混沌とする時代に突入していますが、人間に両目という視覚が備わっているかぎり映像がなくなることはありません。どういう姿になっても映像への探求欲はなくなるのではないでしょうか。新時代に向けて引き続き皆さまのお力をお貸し下さい。

写真展のご案内

創立 55 周年

第 48 回フォトクラブ 707 展

8 月 8 日 (金) ~ 8 月 14 日 (木)

富士フイルムフォトサロン大阪

第 31 回吹田写友展

9 月 9 日 (火) ~ 9 月 14 日 (日)

吹田市文化会館メイシアター1階展示室

第 41 回茨木支部写真展

9 月 10 日 (水) ~ 9 月 16 日 (火)

茨木市市民総合センター 1階ギャラリー

〒530-0005 大阪市北区中之島 2-3-18

全日本写真連盟大阪府本部

Tel:06-6201-8006 Fax:06-6201-0285

メール: nissyaren@osaka.email.ne.jp